

令和5年度 学校評価 自己評価書 (3学期)

1 学校の重点目標

- 心の教育(生徒指導)の充実
つらいことがつらいと言える関係をめざした学級づくり
- 学力向上の推進
分からないことが分からないと言える関係に基づいた授業の改善
- 体力・気力等の向上と健康教育の充実
頑張ったことを頑張ったと言える関係を大切にする活動の充実

2 課題と改善策等

	評価項目	職員	評価結果と改善方策
学校経営	1 学校教育目標の具現化のための校務分掌の取組	3.2	○ 校時表の見直しや工夫により、時間の確保を図る。 ○ 係会の実施を通して、校務分掌の業務の確認と機能化を図る。 ○ 部活動の活動時間の見直しを行う。
	2 教育活動に当たって、全職員の共通実践	2.9	
	3 校務分掌の機能化	3.3	
学習指導	1 授業における目標の明確化と意識付け	3.2	○ 次年度の金融教育への取り組みについて具体的な学習内容の検討を行う。 ○ タブレットを活用した学習によって、個に応じた課題の設定に心がける。
	2 課題解決的学習, 体験的学習の充実	3.1	
	3 個に応じた指導の工夫	3.1	
	4 情報活用能力の向上	3.3	
生徒指導	1 積極的な生徒指導の推進	3.2	○ 新しい制服にあった生徒心得の検討を行う。 ○ 保護者対応のためのスクールロイヤーの活用を検討する。
	2 規範意識の育成	3.0	
	3 不登校生徒や問題行動傾向のある生徒への計画的積極的な指導	3.3	
道徳	1 全教育活動を通した命の教育の実践	3.5	○ 全校体制で授業に取り組み、徳目への学習を通して実践力の向上に努める。 ○ 生徒が意欲的に取り組む道徳の授業の展開の工夫に努める。
	2 道徳教育の充実	3.4	
	3 共感的な人間関係の育成	3.3	
特活進路	1 将来を主体的に考えて行動する能力・態度の育成	3.1	○ 進路情報の提供を1, 2年の生徒及び保護者にも継続して行う。 ○ 校務分掌のキャリア教育の位置づけを明確にし充実を図る
	2 進路指導の充実	3.2	
研修	1 計画的, 組織的, 継続的な校内研修の実施。	3.3	○ 金融教育を推進する。 ○ 小中連携の充実を図る。
	2 研修内容, 方法の充実と教師としての資質向上	3.1	

3 次年度に向けての取組

- 学習指導については、タブレットの活用の研究と実践をさらに推進し、進めていく。
- 時代に即した制服の制定に向けてその仕様等を決定するとともに、生徒心得との整合性をとっていく。
- 金融教育について、内容の具体的な検討を進め実践する。